

石川県偕行会総会

平成30年3月31日30年度総会を金沢駅前「ガーデンホテル金沢」で開催した。例年3月10日の陸軍記念日に開催していたが、北陸新幹線開業後、3月は金沢で学会が多く開催され、出席に便利な駅近くで総会を開く場所がなく、今年度も下旬に行ったものである。

参加者は13名で、予想をはるかに下回った。出席者を予想し3年前まで行なってきた講演会は、取止め総会と昼食会を兼ねた懇親会を開催した。

11時国歌斉唱に続いて29年度逝去された2名の物故者に対し、黙祷を捧げた。会長挨拶後、規約に基づき会長が議長となり議事に移った。29年度の行事・会務

及び会計収支が報告され承認された。次に、平成30年度事業計画を審議し会員減少に伴い会費収入が極端に減少し、今後事業の縮小・経費の節約、偕行社との一体化の推進のため、年会費千円減額し2千円とし、偕行社(会)会員を確保していくことも承認された。副会長は、今年度も欠員とし、現会長が事務局を兼ね、引き続き担当することとなった。総会では「後継者をいかに確保して、会の継承基盤を拡充していくか」が最大のテーマであり意見交換図った。

偕行会の主旨に賛同される事務官OBにも入会を、又海・空の元自にも勧誘することも大切ではないかと言う意見もあった。



總會終了後、懇談会を兼ねた昼食会に移った。昼食会には金沢駐屯地司令代理で山本第14普通科連隊副連隊長、及び2年前に第14普通科連隊を途中退職し金沢市議会議員に当選した坂本泰弘氏を来賓に迎えた。副連隊長の挨拶に引き続き坂本市議から、教育と市民の防衛意識についての熱いコメントがあった。

大阪から駆けつけ出席頂いた61期池上様の乾杯の音頭で会食がはじまった。

会食中は「金沢旧借行社」を移築して東京国立近代美術工芸館（20年開館）に利用されることが話題になった。

金沢市の本多の森記念公園内にある旧陸軍の第9師団司令部庁舎と「金沢借行社」の一部を移築するものである。

移築前に是非見学したい旨要望が出た。

また、健康を維持していくための話題が主で、話しが尽きなく予定より30分も超過、来年の再会を約束し1時30分散会した。出席者は次の通り（順不同敬称略）

61期 水口信夫 池上 弘

新谷秀成 寺田喜久雄

陸自 岡田展旺 本田敏郎

陸自 千川康夫 辻 政晴

西川 清 浅地秀一

南京太郎 山尾 敏

崎田進悟